見本市展示会通信

No. 75

The Japan Exhibition News

主な記事

● 〈海外MICE Report〉世界を代表するMICEビジネス都市、ラスベガス…（2面）
● 業種別開催データ（2017年7月～12月）〈消費財関連〉…（3面）
● 〈座談会〉イベントに魅せられて　日本イベントプロデュース協会…（4面）
● あすへのアプローチ〈5〉齋藤譲一理事長・日本劇場技術者連盟…（6面）
● 一般ニュース・人事・組織…（6面）

見本市展示会通信

発行所：㈱ピーオーピー　出版企画室　〒101-0032 東京都千代田区

○TEL：03-5687-6841(代)　○FAX：03-5687-6845　○URL

○タブロイド判毎月2回（1日／15日）発行　○年間購読料：9,000円＋税（送料

3日間に会期延長し 規模を拡大して開催

オーガニックライフスタイルEXPO

日本食品機械工業会は6月13日から16日までの4日間、「FOOMA JAPAN2017」（国際食品工業展）を東京ビッグサイトで行う。40回目を迎える今回は、過去最多の出展者数775社が出展し、東1～6ホールに加え東7～8ホールも使用し3万4237㎡の規模で展開する。

同展は〝食の未来への羅針盤〟をテーマに、食の技術が拓く豊かな未来を提案する、アジア最大級の食の技術に関する総合トレードショー。食品製造プロセスの自動化や、高品質化を図る製品、IoTを活用した効率的な生産システムなどを、実機のデモンストレーションやパフォーマンス等で、製品やサービスの特徴を分かりやすく紹介する。

今回は国際化への取組を積極的に推進し、東8ホール内で中国、台湾、デンマークの3カ国がパビリオンを出展するほか、海外バイヤーを招聘しての「JETRO商談会 in FOOMA JAPAN」も実施する。さらにグローバルスペース内では国内外の大使館や関連機関が、海外有力市場の情報を提供するほか、海外市場進出のための相談所も開設する。

6月16日は農林水産省FOOMA特別講演を予定しており、ビジネスシーンにおけるJAS規格の活用アイデアを、事例を含めて紹介するとともに、ビジネスニーズに応じて事業者からJAS規格を提案できる手続きも紹介する。また、6月14日に予定しているFOOMAビジネスフォーラムでは日本酒〝獺祭〟を展開する旭酒造の桜井博志会長が講演を行う。

ほかにも日本食品工業会

オーガニックフォーラムジャパンは7月28日から30日までの3日間、東京国際フォーラムで「オーガニックライフスタイルEXPO2017」を開催する。

今年で2回目を迎える同展は、オーガニックの裾野を広げて人々の関心を呼び起こし、生活に根付かせて購入へとつなげるため、ビジネスに一般消費者を巻き込むBtoBtoCの展示会で、今年は会期を1日延長し、会場規模を拡大して開催。5月時点での出展者数は190社240小間となっている。IFOAM（国際有機農業運動連盟）が提唱する〝オーガニック3・0〟の推進を基本コンセプトならびにテーマとし、国連が提唱する〝持続可能な開発目標SDGs〟の実現をサブテーマとして展開する。

徳江 倫明 会長

5月24日に開催された記者会見で、オーガニックフォーラムジャパンの徳江倫明会長は「今年は7月開催でもありオーガニックビールを広めたいとの想いからビアスタンドを設置する。夏を象徴するイベント展開にしていきたい」と意気込みを述べた。

28日は業界関係者のみのオーガニックバイヤーズミーティングと商談会、一般も入場可能なオーガニックフォーラムシンポジウムを開催、29日と30日は業界関係者・一般を対象としたEXPO展示販売商談会を行う。入場料金は1000円。公式サイト（https://ofj.or.jp/）より事前登録で無料。

前回は686社が出展し、来場者数は9万4497人だった。

そのほか、詳細はFOOMA JAPAN運営事務局（☎03－6809－3745）まで。

開催テーマを表現したメインビジュアル決定

東京ゲームショウ2017

9月21日から24日にかけて幕張メッセで開催する「東京ゲームショウ2017」（主催＝コンピュータエンターテインメント協会）のメインビジュアルが決定した。

制作は今年もイラストレーターの形部一平氏が担当。2017年のテーマ〝さあ、現実を超えた体験へ。〟を表現している。形部氏は「ゲームの世界は非現実。果たしてそうだろうか？僕たちにとって現実か非現実かは関係なく、ただ体験がすべてだった。人類が永年夢描いてきた宇宙旅行は「体験」すべてを産み出す。それがメインの象徴の面に登場する

助成金情報

新規展助成事業 2次募集を開始

大阪市

大阪市はこのほど、平成29年度大阪市新規展示会誘致助成事業補助金交付対象事業者を決定するとともに、さらなる誘致を目指し今月から2次募集を開始する。

この事業は大阪市内に新たな展示会を誘致することで、中小企業のビジネス機会の創出を狙い、昨年度から実施しているもの。発表によると、今年度の対象事業については2月1日から3月15日までの募集期間に応募があった「第1回関西農業ワールド」（主催＝リード エグジビション ジャパン）、「第1回関西住宅・都市イノベーション総合展」（同）、「第1回関西教育ITソリューションEXPO」（同）、「関西エンディング産業展2017」（主催＝TSOインターナショナル）の4件。

今年度から現在で現在である状況から2次募集は7月31日まで新たに交流推進を先着で、交を先着で、交い合わ

6－6へ。

別冊

日本展示会協会 創立50周年記念

東京本社　イベント